

2013年11月26日 6面 東北

富沢駅西区画整理が1日に着工

仙台市内
最大規模

住・商・医のまち創出

業務代行者はフジタ・オオバJV

仙台市の富沢駅西土地区画整理組合（本多善昭理事長）が業務代行制度を活用して整備する同区画整理事業が12月1日に着工する。施行面積は約72㌥で、同市内では最大規模の土地区画整理事業となる。業務代行者はフジタ・オオバJV。2018年12月までに造成工事を完成させ、20年3月末の事業完了を目指す。総事業費は約145億円を見込んでいる。



完成イメージ。20年3月末の事業完了を目指す

事業対象地は、同市太白区富沢および富田地区の約72㌥。JR仙台駅から南へ約6㌥、仙台市営地下鉄南北線富沢駅からは約1・5㌥に立地

する。土地利用計画では、住宅用地約26・2㌥、沿道業務用地約12㌥、業務用地約8・3㌥、公共施設用地（道路・公園・

調整池など）約25・5㌥をそれぞれ確保する予定だ。住宅用地には800―900戸の戸建て住宅を整備。沿道業務用地は商業エリアとし

て生活サービス施設や小売店舗など、業務用地には医療モールや福祉施設などを誘致する。

『サステイナブル・ライ・タウン』のコンセプトのもと、これら施設を包括的にツトワークすることで、安心・快適で付加価値が高く、高品質なまちづくりを目指す。

造成工事はフジタの施工で5工区程度に分けて推進。調査設計業務はオオバが担当する。